

設備と敷地を持たない製造業
株式会社平山ホールディングス

HIRAYAMA

2024年6月期中間期
決算説明資料

2024年2月26日





2024年6月期中間期 決算概要	2
2024年6月期中間期 決算概要 (セグメント別事業概要)	8
トピックス	18
2024年6月期通期 業績予想	21
参考資料	35
参考資料 (今後の成長戦略)	41

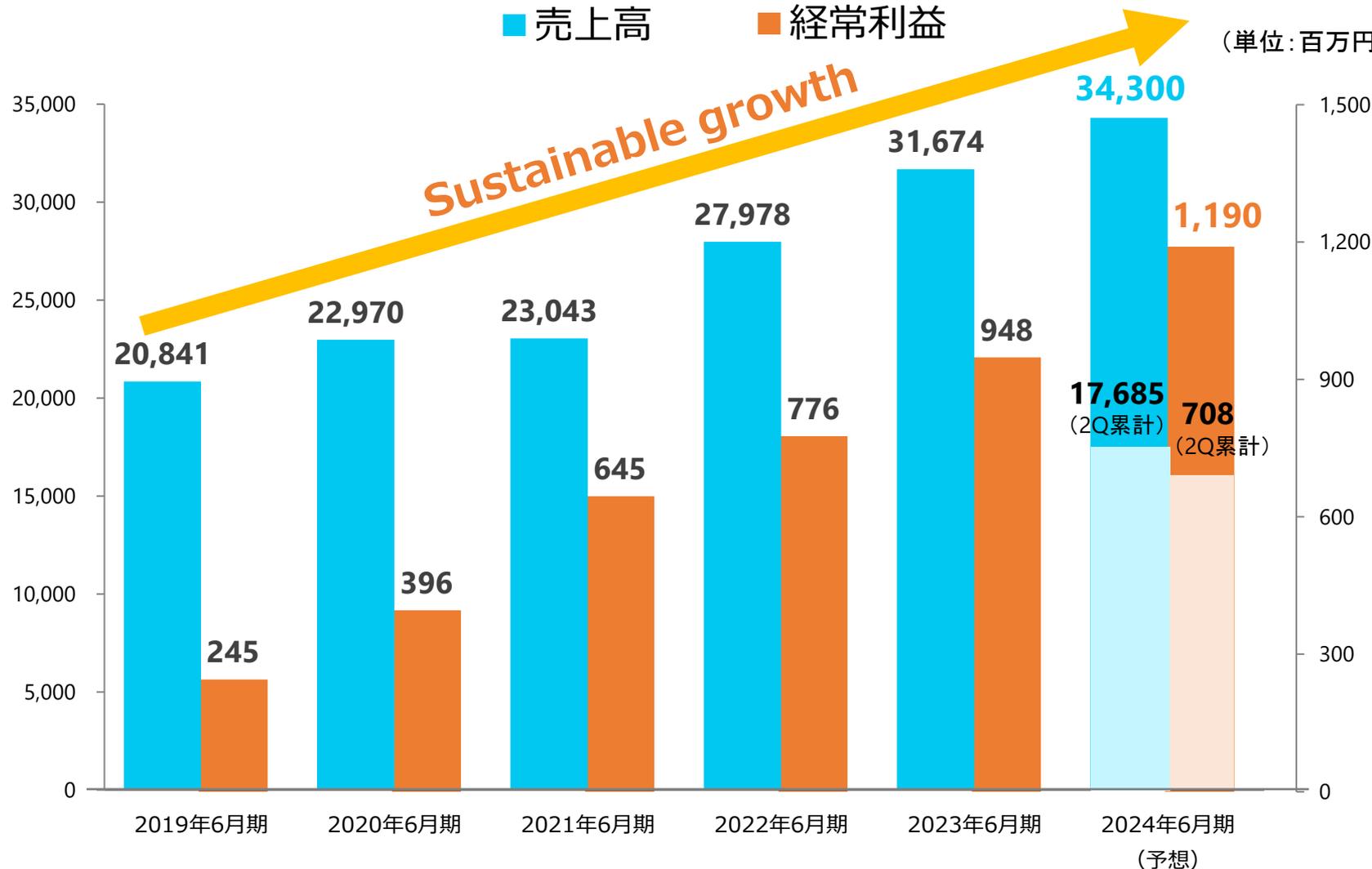
A vertical blue bar consisting of two parallel lines.

2024年6月期中間期 決算概要

業績の推移

■ 売上高 ■ 経常利益

(単位:百万円)



全セグメントにおいて増収増益を達成

売上高

17,685百万円

前年同期比：12.1%増

- 旺盛な需要が持続し、既存取引先からの追加発注が好調
- 新規取引先開拓の獲得も進捗
- コロナ禍で取引が一旦終了していた顧客からも取引再開

営業利益

674百万円

前年同期比：15.3%増

- 平山G L社においてグループ化に伴う諸費用が増加
- 今後のグループ成長のため拠点と人員の拡充及び採用強化に伴う諸経費を戦略的に使用
- 概ね期初の計画通りに進捗

親会社株主に帰属する四半期純利益

451百万円

前年同期比：15.9%増

- 法人税等を258百万円計上

2024年6月期中間期 決算の概要

- ・ 営業利益率の向上は、技術者派遣事業、海外事業、その他事業における利益率改善が寄与
- ・ 売上総利益率の変化は、期首に連結子会社化した株式会社平山G L（旧ブリヂストングリーンランドスケープ株式会社）においてグループ化に伴う諸費用等が増加したため

（単位：百万円）

	2023年6月期2Q累計		2024年6月期2Q累計		前期比	
	(金額)	(利益率)	(金額)	(利益率)	(金額)	(率)
売上高	15,769	—	17,685	—	1,916	12.1%
売上総利益	2,774	17.6%	3,063	17.3%	289	10.4%
販売費および一般管理費	2,189	13.9%	2,389	13.5%	200	9.1%
営業利益	585	3.7%	674	3.8%	89	15.3%
経常利益	616	3.9%	708	4.0%	92	15.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	389	2.5%	451	2.6%	62	15.9%

注：百万円未満切捨て

連結貸借対照表の概要

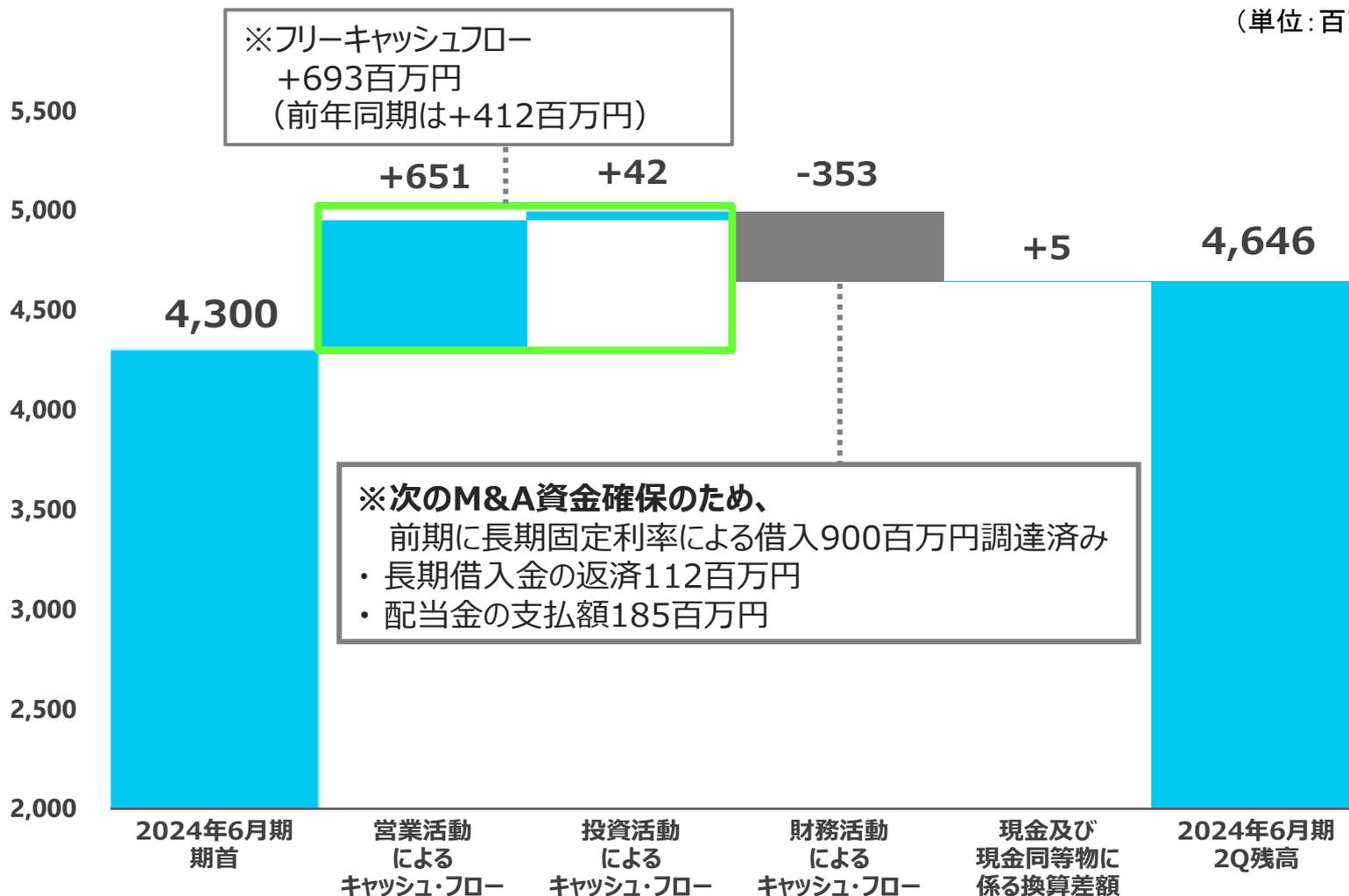
リスクに強いバランスシート

- ・ のれん比率が小さく、償却負担も少ない
- ・ デット・エクイティ・レシオの低さならびに長期借入比率の高さによって金利上昇に対する耐性が高い

(単位:百万円)	2023年6月末		2023年12月末		前期末比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
流動資産	8,640	85.4%	9,367	85.3%	727	8.4%
現金及び預金	4,334	42.9%	4,698	42.8%	364	8.4%
受取手形及び売掛金	3,532	34.9%	3,867	35.2%	335	9.5%
固定資産	1,474	14.6%	1,611	14.7%	137	9.3%
有形固定資産	411	4.1%	471	4.3%	60	14.6%
無形固定資産	58	0.6%	62	0.6%	4	6.9%
のれん	10	0.1%	5	0.0%	△5	△50%
投資その他の資産	1,004	9.9%	1,077	9.8%	73	7.3%
総資産	10,114	100.0%	10,979	100.0%	865	8.6%
流動負債	4,217	41.7%	4,685	42.7%	468	11.1%
1年内返済予定の長期借入金	213	2.1%	199	1.8%	△14	△6.6%
固定負債	1,909	18.9%	2,090	19.0%	181	9.5%
長期借入金	630	6.2%	530	4.8%	△100	△15.9%
純資産	3,987	39.4%	4,203	38.3%	216	5.4%
株主資本	3,989	39.4%	4,203	38.3%	214	5.4%
負債＋純資産	10,114	100.0%	10,979	100.0%	865	8.6%

キャッシュ・フロー

(単位: 百万円)



A vertical blue bar consisting of two parallel lines, positioned to the left of the section header text.

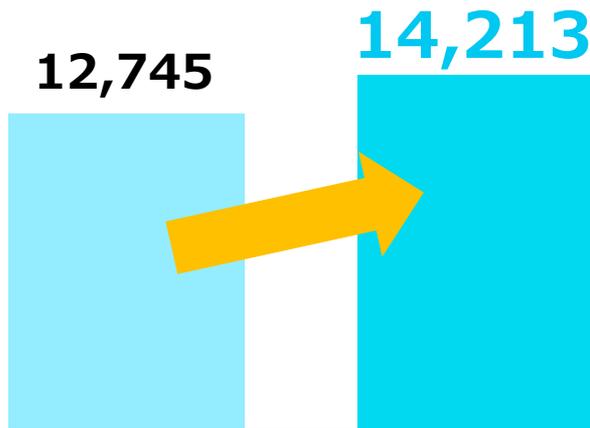
2024年6月期中間期 決算概要（セグメント別事業概要）

インソーシング・派遣事業

自動車関連分野と農機具・小型建機関連分野において生産が継続して回復し業績を牽引
 物流、小売、ホテルで既存取引先からの追加発注のみならず新規受注も好調
 新規受注した半導体関連についても緩やかな回復ながら増収に寄与

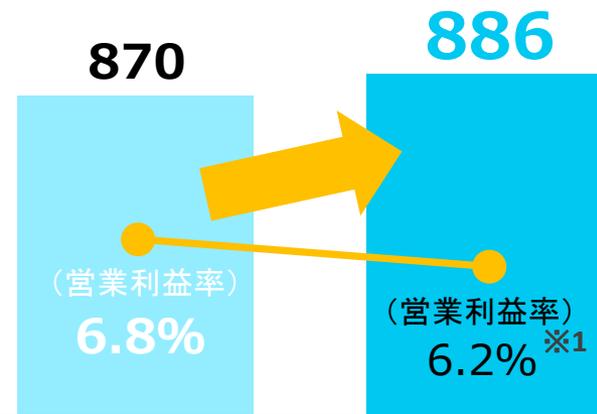
(単位：百万円)

売上高 **+11.5%**



2023年6月期2Q累計 2024年6月期2Q累計

営業利益 **+1.8%**



2023年6月期2Q累計 2024年6月期2Q累計

→上記2024年6月期2Q累計のデータは平山G L社単体の売上高936百万円、営業損失12百万円を含んだ数値です。

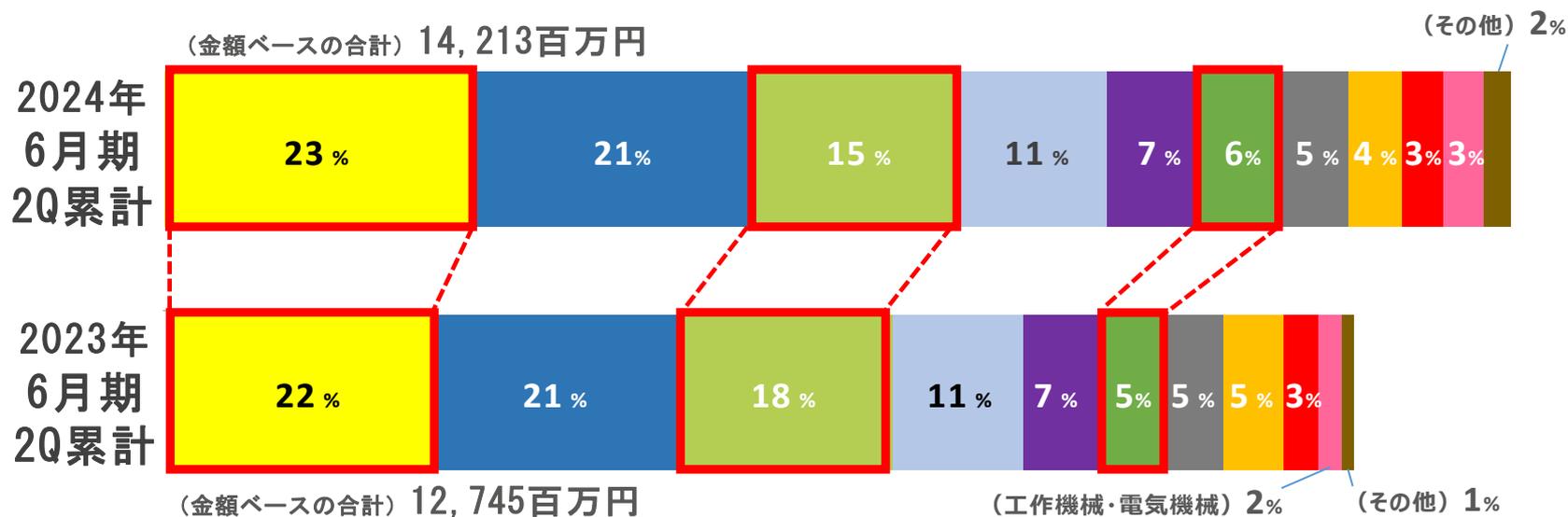
※1 平山GL社のグループ化に伴う諸費用増加ならびに今後のグループ成長のための拠点と人員の拡充及び採用強化に伴う諸経費を戦略的に使用

取引稼働社数614社^{※2} (前年同期627社)

※2 サービス系子会社において低採算案件を中止

インソーシング・派遣事業 売上高

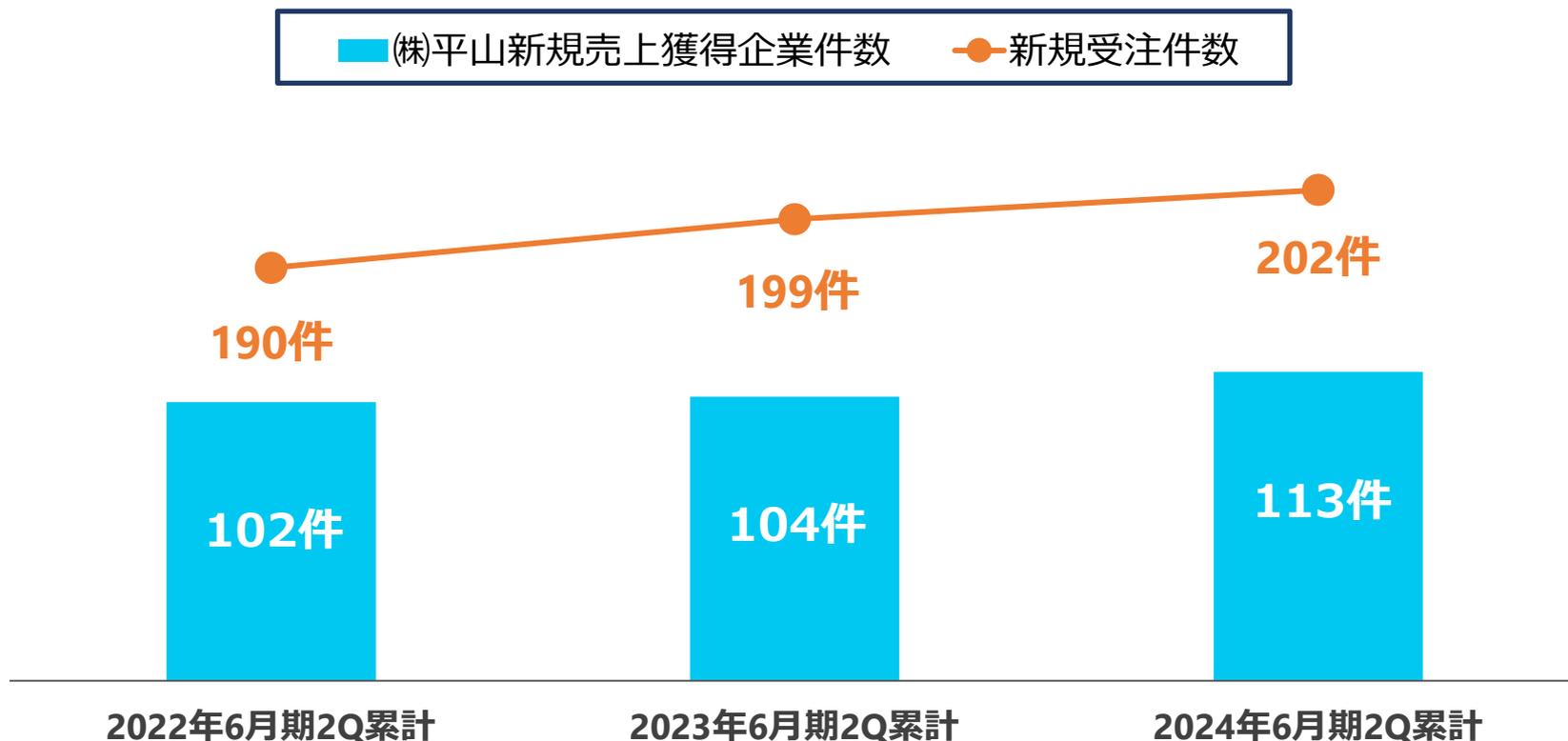
輸送用機器が業績を牽引、食品は低採算案件からの撤退、小売・ホテルはインバウンド等の活況が影響し、全体として伸長



- 自動車部品
- 医療機器・医薬品
- 食品
- 建設機器・特殊車輛
- デジタル関連 (オフィス機器・電子印刷)
- 小売・ホテル
- 住宅設備
- 物流
- 半導体・電子部品
- 工作機械・電気機械
- その他

製造業の取引社数は順調に拡大

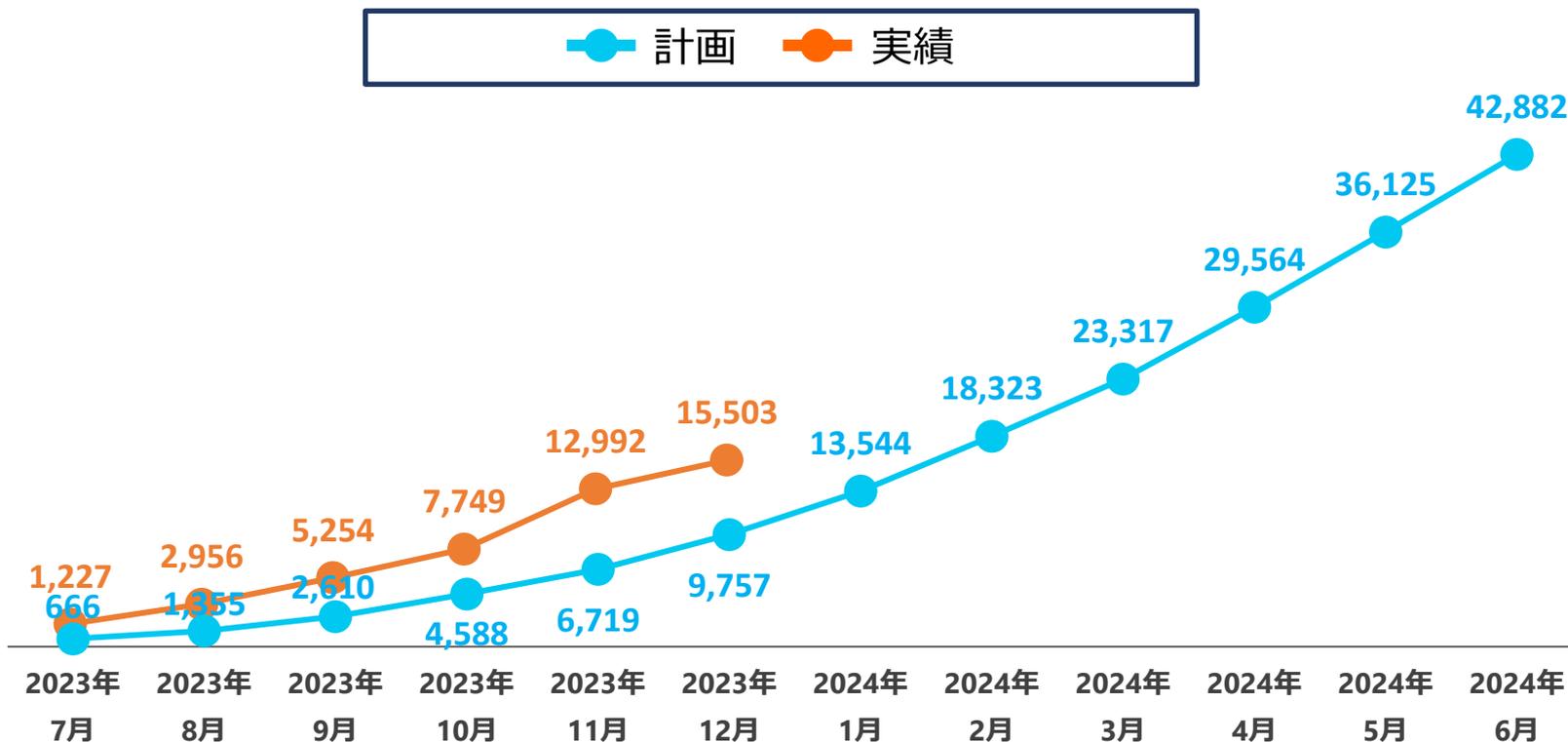
インソーシング・派遣事業のうち、製造業を主な取引先とする(株)平山の新規獲得件数、取引稼働社数は順調に拡大しています。



請負現場の改善効果金額

高い顧客対応力によって、現場の改善力は計画を上回って推移

(単位：千円)



「優良派遣事業者認定制度」に優良派遣事業者として認定

平山社は、厚生労働省が推進する委託事業「優良派遣事業者認定制度」に、優良派遣事業者として、認定番号2303001(01)と認定されました。優良派遣事業者としての認定を機に派遣事業の営業販路を拡大し、採用力を強化していきます。

今後もさらにスタッフ支援の社内制度とその運用実態を強化し、派遣社員および派遣先企業の満足度の向上を目指し、労働環境の改善に努めます。

優良派遣事業者認定制度について

法令を遵守しているだけでなく、派遣社員のキャリア形成支援やより良い労働環境の確保、派遣先でのトラブル予防など、派遣社員と派遣先の双方に安心できるサービス基準を満たした派遣事業者を「優良派遣事業者」として認定する制度です。派遣会社は優良な事業者であると認定され、派遣社員や派遣先企業は信頼性のある企業を選択する基準になります。



優良派遣事業者

認定内容

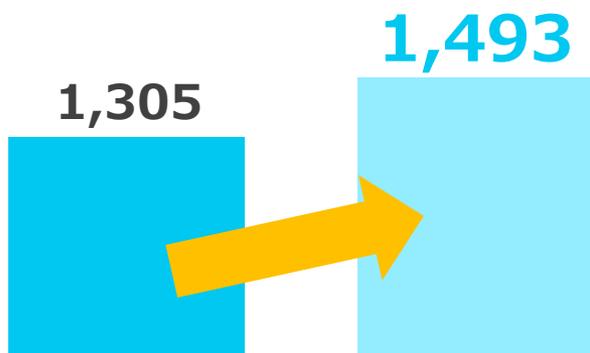
認定番号	2303001(01)
認定年度	2023年度
認定期限	2026年9月30日

技術者派遣事業

電子機器の組み込みソフトウェアや半導体関連・生産設備関連の技術者を中心に受注は回復基調 AI等の新規分野においてあらたに取引が開始され、収益の増加に寄与

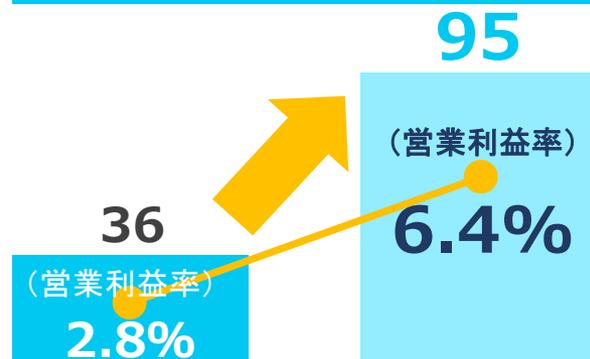
(単位：百万円)

売上高 **+14.4%**



2023年6月期2Q累計 2024年6月期2Q累計

営業利益 **+160.5%**



2023年6月期2Q累計 2024年6月期2Q累計

	取引稼働社数	期末派遣人数	期末在籍人数	稼働率
2023年6月期2Q	121社	419名	431名	97.2%
2024年6月期2Q	142社	458名	476名	96.2%
前年同期比	+21社	+39名	+45名	

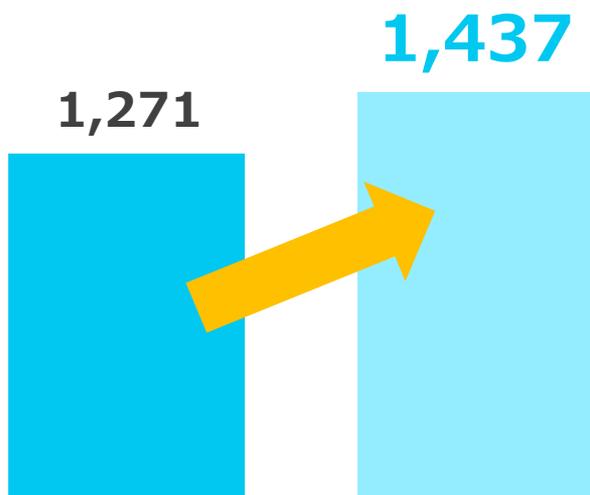
期末派遣人数の実績は前年同期比 **39名増 (+9.3%)**

海外事業

派遣従業員数は減少したが、高単価顧客の増員が確保できたことで増収
ローコストでのオペレーションで増益

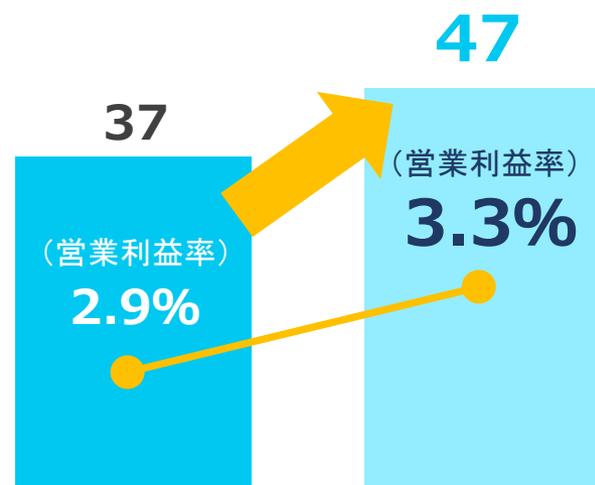
(単位：百万円)

売上高 **+13.1%**



2023年6月期2Q累計 2024年6月期2Q累計

営業利益 **+27.0%**



2023年6月期2Q累計 2024年6月期2Q累計

	2023年6月期2Q	2024年6月期2Q	前年同期比
期末派遣人員数	3,052名	2,737名	△10.3%

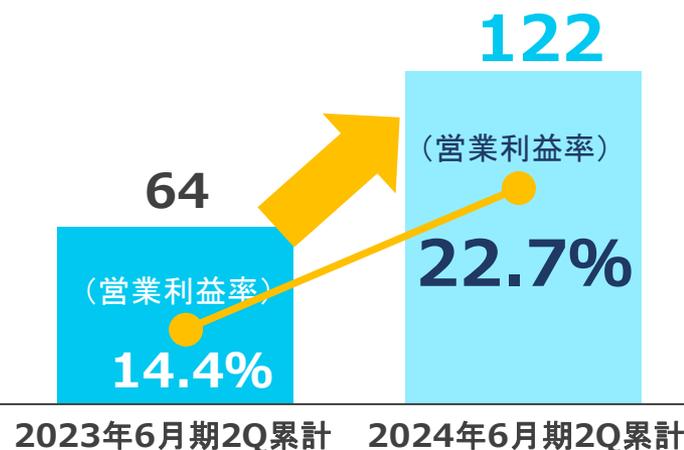
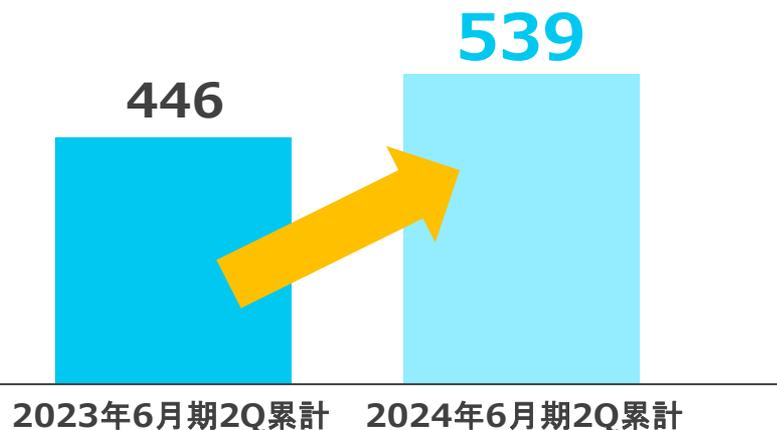
その他事業

国内の現場改善に係るコンサルティング及び海外からの研修案件が増加
生産性向上のAIソリューション開発に加えて、国内に生産回帰しようとする顧客に対する工場立ち上げ支援のコンサルティング案件が増加
外国人雇用管理サポート事業が業績に寄与

(単位：百万円)

売上高 **+20.8%**

営業利益 **+90.3%**



外国人技能実習生の受け入れ拡大の取り組みについて

次ページへ

サインライズ協同組合が「一般監理事業」の許可を取得

平山グループのサインライズ協同組合が、2023年12月19日付で外国人技能実習機構（OTIT）による一般監理事業の許可を取得しました。同組合は、優秀な外国人技能実習生と日本企業を繋ぐサポートをしています。これを機に、さらなる外国人技能実習生の受け入れ拡大を目指します。

外国人技能実習機構の監理団体「一般監理事業」の許可について

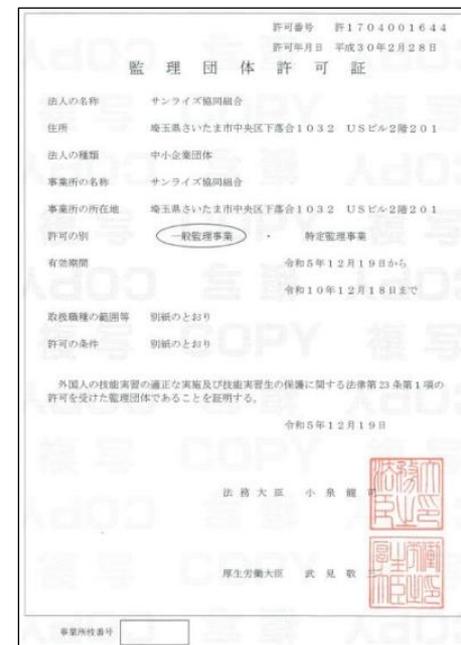
監理団体とは、外国人の技能実習の適正な実施および技能実習生の保護に関する法律第23条第1項の許可を受けた団体です。優良な監理団体は、一定の基準による「一般監理事業」として活動の幅を広げることや、外国人技能実習生の受け入れ枠の拡大を認定しています。

【一般監理事業許可の内容】

許可番号 許1704001644
法人の名称 サンライズ協同組合
所在地 埼玉県さいたま市中央区
有効期間 2023年12月19日から 2028年12月18日まで
法務大臣、厚生労働大臣 認可

【サインライズ協同組合の概要】

事業内容 優秀な外国人技能実習生と日本企業のマッチング、
教育（日本語教育）、日常生活のサポート、
期間終了後のサポート
設立 2006年6月12日
受入国 ミャンマー、ベトナム、フィリピン



A solid blue vertical bar consisting of two parallel lines.

トピックス

DX推進の取り組みを加速 ①

DX推進ビジョンの策定

2023年12月1日、平山社は「DX推進ビジョン」を策定・発表し、DX推進の取り組み強化をさらに進めています。

DX推進ビジョンの概要

1. DXツール活用による業務効率化

(1)社内向けRPAシステム・ローコードでのアプリ開発

- ①RPAシステム開発による工数削減
- ②ローコードでのアプリ開発及びアプリ購入における間接部門作業の業務標準化・長時間労働の軽減

(2)生成AIの組織的な活用

- ①chat GTPの活用による既存業務のAIへの移行
- ②GAMMA利用による資料作成の短縮化
- ③自社開発の音声データ文字起こしツールと生成AIとの連携

2. 人材育成

(1)社内DX人材育成

- ①計画的な社内データサイエンティストの育成
- ②chat GPTのプロンプトエンジニア育成

(2)DXに関する普及活動

- ①業界団体や主要な国立大学等での講演活動

DX推進の取り組みを加速 ②

「チームプラン」の先行導入が実現

平山社は、DX化の検証に米国オープンAI社によるChatGPTを活用しノウハウを蓄積してきたことが評価され、2023年12月14日、ChatGPTの新サービス「チームプラン」の先行導入に合意し、使用を開始しています。

「チームプラン」の特徴

企業向けにリリースされた新プランで、チーム作業を効率化するための機能を豊富に備えている。「チームプラン」利用により、実務ニーズに合わせた直接的なプロンプトエンジニアリングが可能になることから、高度な分析を行う能力の向上が実現します。

世界での公式な提供は2024年1月10日からとなります。

現場改善 DX コンサルティング事業を拡充

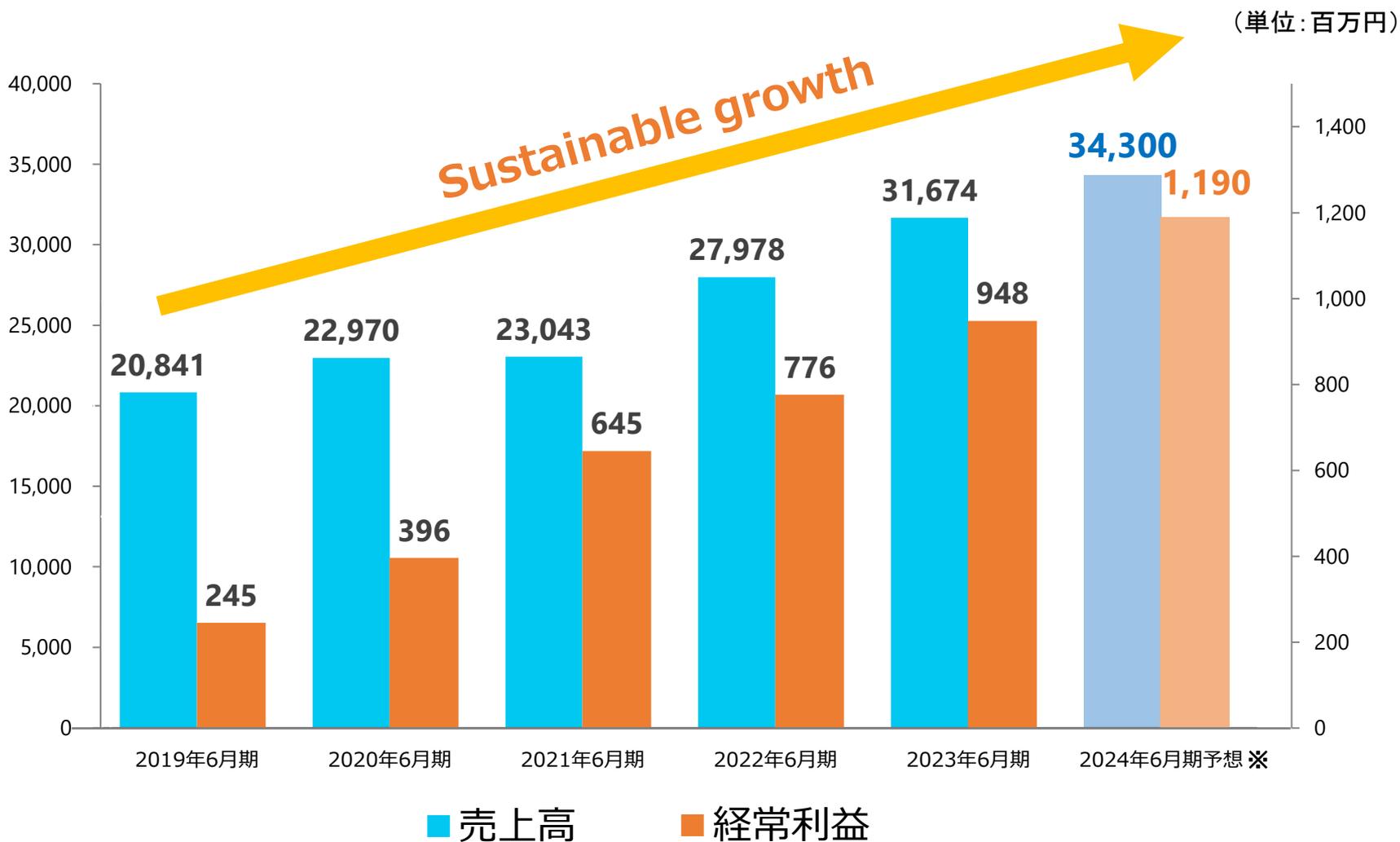
DXが加速するうえで、生成AIの使用は必須となっています。平山HDは、2024年1月19日、脳科学者の茂木健一郎氏を講師に招き、「DX ChatGPTセミナー」をオンラインで開催しました。現場改善 DX コンサルティング事業の拡充に向け、生成AIを活用した社会の可能性について、対談形式を含むセミナーを展開しました。



A solid blue vertical bar consisting of two parallel lines.

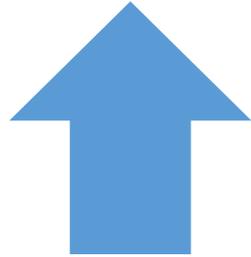
2024年6月期通期 業績予想

業績（実績・予想）の推移



※予想数値には、今後のM&Aに伴う数値は計上していません。

売上高
8.3%増



営業利益
34.3%増

(単位：百万円)

	2023年 6月期実績	2024年 6月期予想	前期比		2024年 6月期2Q 実績	同 進捗率
			(金額)	(率)		
売上高	31,674	34,300	+2,626	+8.3%	17,685	51.6%
営業利益	893	1,200	+307	+34.3%	674	56.2%
経常利益	948	1,190	+242	+25.5%	708	59.5%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	549	700	+151	+27.5%	451	64.4%



13期連続の増収、各段階利益とも増益を予想

セグメント別売上高

(単位：百万円)

セグメント	2023年 6月期実績	2024年 6月期予想	前期比		2024年 6月期2Q 実績	同 進捗率
			(金額)	(率)		
インソーシング・ 派遣事業	25,283	27,590	+2,307	+9.1%	14,213	51.5%
技術者派遣事業	2,676	3,100	+424	+15.8%	1,493	48.2%
海外事業	2,709	2,510	△199	△7.3%	1,437	57.3%
その他事業	1,005	1,100	+95	+9.5%	539	49.0%

2024年6月期 セグメント別業績予想

セグメント別営業利益

(単位：百万円)

セグメント	2023年 6月期実績	2024年 6月期予想	前期比		2024年 6月期2Q 実績	同 進捗率
			(金額)	(率)		
インソーシング・ 派遣事業	1,441	1,698	+257	+17.8%	886	52.2%
技術者派遣事業	64	149	+85	+132.8%	95	63.8%
海外事業	73	55	△18	△24.7%	47	85.5%
その他事業	210	247	+37	+17.6%	122	49.4%
全社費用及び セグメント間消去	△896	△949	△53	-	△477	50.2%

平山グループの事業ポートフォリオマネジメント

- ・各セグメントの位置づけに応じた戦略の立案・実行・見直しを推進
- ・全体最適の観点から事業ポートフォリオを再構築

		インソーシング (請負)・ 派遣事業	技術者派遣事業	海外事業	その他事業	
					コンサルティング 事業	外国人雇用管理 サポート事業
		基盤事業	成長事業	収益改善事業	収益改善事業	成長事業
課題	①採用強化、 定着	①技術者の採用、 定着	コロナ禍の 選択と集中に よる海外事業の 効率化推進	①案件増のため コンサルタントの増員	①技能実習 制度改正 への対応	
	②営業力強化	②営業力強化		②再開したスタ ディーツアーの 取り込み	②技能実習生 ・特定技能 配置への対応	
	③請負化の推進、 生産性の改善	③エンジニア への研修強化				
進捗	①採用拠点拡大中 ②◎ ③◎	①採用組織は構築済み ②強化継続中 ③強化継続中	◎スリム化と 顧客の選別を実行	①進捗中 ②進捗中	①進捗中 ②◎順調な受注	

新たな成長ステージへ

インソーシング・派遣事業

★既存取引先のニーズに対応しつつ、製造派遣を中心に新規取引先開拓を推進

- 国内生産へ回帰する半導体・電子部品に対応した人材の育成、研修センターの充実
- 小売業及び物流関連など国内需要の底堅い業種を増強

★現場改善コンサルティングを積極展開し、生産請負現場の収益を改善

- 生産現場へのトヨタ生産方式（TPS）の活用により収益改善を継続
- 生産拠点の国内回帰による工場立ち上げコンサルティング強化

★中途採用目標は、グループで5,400名（前期実績4,440名）

- 上半期時点：2,336名 進捗率 43.3%

★新卒採用目標はグループで、610名（前期実績は415名）

- 新卒採用を強化するためのブランド構築強化、採用チャネル拡大
テレビCM等メディア活用やTikTok等SNSによる拡散
- 無期雇用をベースに安心、安定した雇用を提供すると共に、キャリア形成支援により、一人一人にマッチした多様な仕事にキャリアチェンジできる環境・機会を提供
- 社内コミュニケーションの活性化により会社・社員同士のつながりを醸成し、明るく楽しい職場づくりの推進

研修センターの充実

半導体の研修センターを新たに設置し、半導体に対応した人材の育成を加速

南関東研修センター（東京西）基礎教程



研修器材



ウェーハ移替え



PLC調整

神奈川研修センター（アステクス厚木）保全教程



研修実機類（クリーンブース内）

【半導体研修要項】

I) 基礎教程

- ①クリーンルーム基本動作（製品取扱い）
- ②半導体プロセス理論（基礎）
- ③安全（動作、ガス、薬液）SEAJ準拠

II) 保全教程

- ①装置機種別の真空チャンバー保守
- ②実機操作に基づく安全準拠動作
- ③保守重要パーツの分解～復元習得

技術者派遣事業

★継続的な既存領域の技術者ニーズに対応しつつ生産技術、情報システムの新分野の顧客拡大、コロナ禍によるDX化の加速を背景にIT派遣を拡大

- 既存技術者を対象に技術研修強化によりスキルアップおよびスキルシフトを行い、高スキル技術者として育成
- 新領域の中途採用を強化し、生産技術及び情報システム領域（IT、AI）の新分野の顧客を拡大

★中途採用の強化

- 2024年6月期 計画53名（2023年6月期 実績47名）
上半期時点：28名 進捗率 52.8%

★新卒採用の増員による先行投資

- 2024年6月期 計画95名（2023年6月期 実績88名）

★未経験の若手採用者への教育によるエンジニア育成と適正な現場への配属

- ITエンジニア、クラウドエンジニア、インフラエンジニアの育成

★既存技術者の定着率を改善

- 社内コミュニケーションの活性化
- 技術者のキャリア可視化と研修管理、適正な技術者配置によりエンジニアの市場価値の向上

海外事業 選択と集中により利益改善に注力

★タイ国での派遣ビジネスの効率化と新サービスの拡充

- 派遣事業1社、コンサルティング事業1社に整備
- タイ派遣者数は3,000名前後を維持して、収益重視の経営にシフトチェンジ
- 2023年9月末（2024年6月期）のタイ派遣者数は2,737名（前年同月比10.3%減）となるが、高単価顧客の増員が確保できたことで増収増益

★海外事業の業績予想前提 為替レート：1タイバーツ=3.8円

売上高は保守的な内容、コロナ禍での社会保障費への政府支援がなくなるため利益は圧迫（前期2023年6月期は2千万円強押し）

■ 2024年6月期2Q海外事業の実績

	2023年6月期2Q	2024年6月期2Q	前年同期比
売上高	1,271百万円	1,437百万円	+13.1%
営業利益	37百万円	47百万円	+27.0%
営業利益率	2.9%	3.3%	

その他事業

★技能実習生、特定技能、技術人材の国内採用・管理受託業務の拡販 受託目標人数1,000名

- 外国人サービス提供者数は1,067名で目標に対し順調に推移し、
目標を1,500名に引き上げ
(上半期時点：1,234名 進捗率 **82.3%**)

★現場改善コンサルティングは国内顧客の拡大

- 生産拠点の国内回帰による工場立ち上げの支援コンサルティング
- AI・IoT関連企業との協業によるコンサルティング領域の拡大

★「一般監理事業」の許可取得によって外国人技能実習生の受け入れ枠を拡大

- 平山グループのサンライズ協同組合が「一般監理事業」の許可を取得

監理団体※1	監理可能な技能実習	許可の有効期間	受け入れ可能人数枠
特定監理事業	1号・2号	3年または5年	1号：基本人数枠※2 2号：基本人数枠の2倍
一般監理事業 (優良監理団体)	1～3号 優良基準適合者	5年または7年	1号：基本人数枠の2倍 2号：基本人数枠の4倍 3号：基本人数枠の6倍

※1 監理団体とは、技能実習生に対し支援や監査を行う非営利団体であり、「特定」と「一般」の2種類がある。

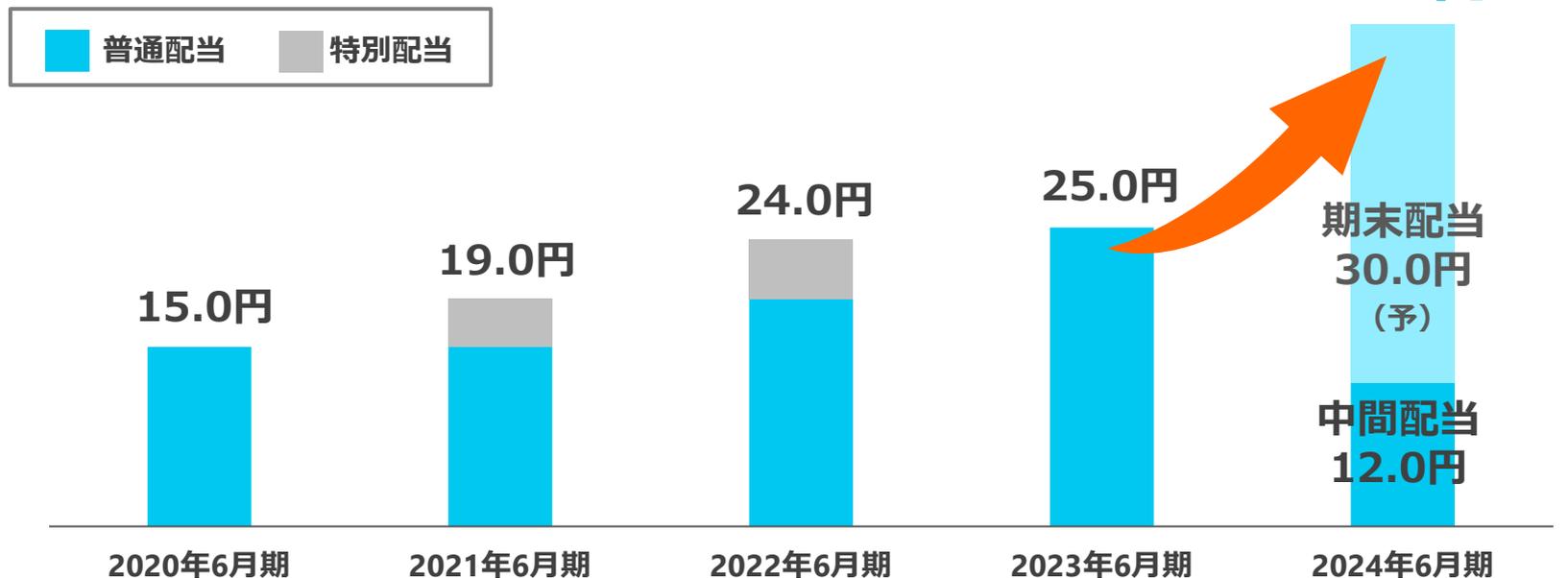
その違いは、上記の表のとおりであり、優良監理団体である「一般監理事業」には、受け入れ枠の拡大が認められる。

※2 基本人数枠は、制度で決められている技能実習生の受け入れ可能な人数枠です。実習実施者の常勤の職員の総数に応じて、受け入れ可能な技能実習生の人数が定められています。

中間配当の実施等、より積極的な利益還元を実行

- ・ 将来の事業展開・経営体質強化による企業価値の向上
- ・ 初の中間配当実施とともに年間の1株当たり配当金予想を**42円**に増額修正(配当性向 **44.5%**)
- ・ 配当性向 **30%超**を基本としつつ、連結ベース総還元性向 **50%***以内を目途に継続的な安定配当

1株当たり配当金の推移



注：2022年7月1日に実施した1：2の株式分割を遡及した数値

※ 65,000株 (55,103,900円) の**自己株式の取得**を実施 (2023年6月21日～9月27日)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

2018年東京証券取引所のコーポレートガバナンスコード改訂を踏まえ、同年10月当社取締役会において、議案「経営戦略上のグループ投資方針の決定」として決議したものであり、M&Aの財務規律及び資本政策において、実行を継続しております。

■原則5-2 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

当社は、重要な経営指標を売上総利益率、販売管理費率、営業利益率、投下資本利益率（ROIC）とした上で、自社の資本コスト（株主資本コスト及び加重平均資本コスト（WACC））を上回るよう稼ぐ力の追求と資本効率性の向上に取り組んでおります。安定的にROICが資本コスト（加重平均資本コスト（WACC））を上回る構造を実現することで企業価値の向上に努めております。

※コーポレートガバナンス・コード（2021年6月改訂版）

【原則5-2. 経営戦略や経営計画の策定・公表】

経営戦略や経営計画の策定・公表に当たっては、自社の資本コストを的確に把握した上で、収益計画や資本政策の基本的な方針を示すとともに、収益力・資本効率等に関する目標を提示し、その実現のために、事業ポートフォリオの見直しや、設備投資・研究開発投資・人的資本への投資等を含む経営資源の配分等に関し具体的に何を実行するのかについて、株主に分かりやすい言葉・論理で明確に説明を行うべきである。

補充原則5-2①

上場会社は、経営戦略等の策定・公表に当たっては、取締役会において決定された事業ポートフォリオに関する基本的な方針や事業ポートフォリオの見直しの状況について分かりやすく示すべきである。

透明性・公正性を重視したコンプライアンス経営



第 1 号

製造請負優良適正事業者認定制度を第1号で取得
2023年4月1日付更新 (3年)

「製造請負優良適正事業者認定制度」

厚生労働省の委託事業として、適正な請負体制の推進ができる優良な請負事業者を認定する制度

A solid blue vertical bar consisting of two parallel lines.

参考資料

会社概要

商号	株式会社平山ホールディングス HIRAYAMA HOLDINGS Co., Ltd.
本店所在地	東京都港区港南1丁目8番40号 A-PLACE品川6階
代表者	代表取締役社長 平山 善一
設立年月	1967年5月
資本金	535百万円 (2023年12月末)
発行済株式数	7,864,800株 (2023年12月末)
決算期	6月末
事業内容	グループ会社の経営管理等
期末人員数	10,763名 (2023年12月末の限定正社員及び契約社員を加えた総数/海外含)
グループ会社	



株式会社平山
株式会社トップエンジニアリング
FUN to FUN株式会社
株式会社平山グローバルサポーター
株式会社平山LACC
株式会社平和鉄工所
株式会社大松サービシーズ
株式会社平山G L (旧ブリヂストングリーンランドスケープ株式会社)
HIRAYAMA (Thailand) Co., Ltd.
JOB SUPPLY HUMAN RESOURCE Co., Ltd.
Hirayama Myanmar CO., LTD.

展開エリア

注： は新たな拠点もしくは名称変更した拠点です。

海外法人（順不同）	
1	HIRAYAMA (Thailand) Co., Ltd.
	JOB SUPPLY HUMAN RESOURCE Co.,Ltd.
2	Hirayama Myanmar CO., LTD.

(株)トップエンジニアリング 事業所/営業所/研修センター	
1	本社・東京事業所
2	名古屋営業所
3	大阪営業所
4	豊田営業所
5	研修センター

(株)平山GL	
1	本社（福岡県）

(株)平和鉄工所	
1	本社（山口県）

FUNtoFUN(株) 営業所	
1	本社（東京）
2	北海道営業所
3	東北営業所
4	埼玉営業所
5	成田営業所
6	千葉営業所
7	東京支店
8	八王子営業所
9	川崎営業所
10	大阪営業所
11	久留米営業所
12	札幌センター
13	群馬センター

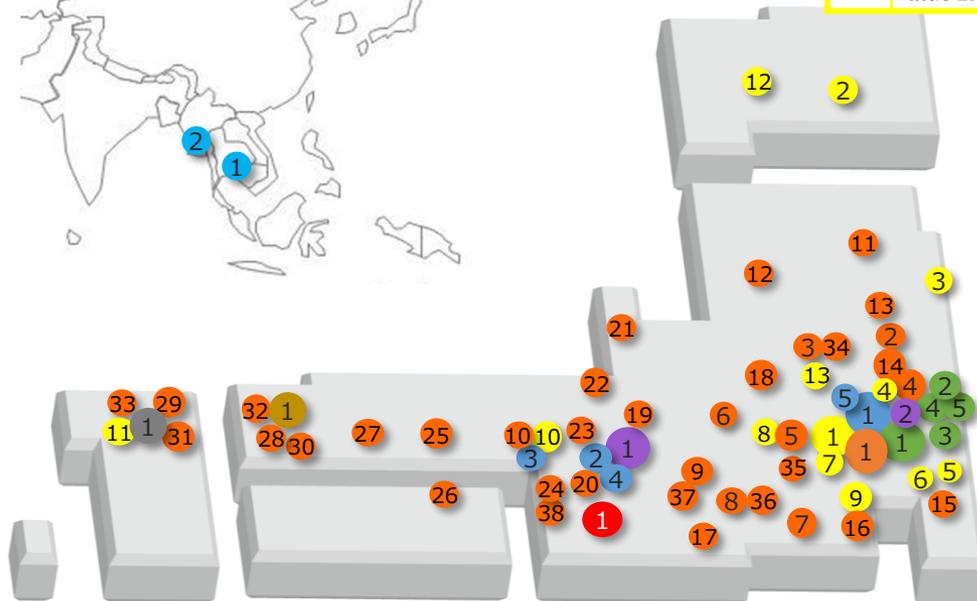
(株)平山 支店/営業所/ 事務所/研修センター	
1	東京本社
2	宇都宮支店
3	群馬支店
4	つくば支店
5	東京西支店
6	山梨支店
7	沼津支店
8	静岡支店
9	豊田支店
10	大阪支店
11	北上営業所
12	山形営業所
13	郡山営業所

(株)平山 支店/営業所/ 事務所/研修センター	
14	古河営業所
15	千葉営業所
16	神奈川営業所
17	浜松営業所
18	長野営業所
19	可児営業所
20	名古屋営業所
21	金沢営業所
22	福井営業所
23	京都営業所
24	堺営業所
25	岡山営業所
26	香川営業所
27	広島営業所
28	山口営業所
29	行橋営業所
30	下松事務所
31	中津事務所
32	下関事務所
33	福岡事務所
34	北関東研修センター
35	南関東研修センター
36	富士宮研修センター
37	豊田研修センター
38	堺研修センター

(株)平山LACC	
1	東京本社
2	牛久支店
3	LACC稲敷（事業所）
4	LACC牛久（事業所）
5	LACC神谷（事業所）

(株)平山グローバルサポーター	
1	本社（愛知県）
2	関東支店（埼玉県）

(株)大松サービシーズ	
1	本社（三重県）



日本SDGs協会「SDGs事業認定」更新

2023年6月、一般社団法人日本SDGs協会から、3つの事業の取り組み実績と、今後1年間のゴール設定により「SDGs事業認定」が更新されました。

■インソーシング・派遣事業の取り組み実績



HAio（労働災害防止のためのAI安全支援ツール）の利用状況
平山社内利用 590名

EAP-メンタル支援「ココロケアサポート」（訪問型相談支援）

■今後1年間のゴール

HAioの利用から、AIカメラとアラート導入による労働災害予防に力点を移行させる

「ココロケアサポート」のこれまでの実績を、新入社員503名及び中途入社社員にさらに展開する

■海外事業の取り組み実績



マンダレー工科大学とのパートナーシップで日本とミャンマーの架け橋になり、人材育成を目指す

2023年1月、ヤンゴンにMJEP（マンダレー日本エンジニアプロジェクト）の教室を移設し、あらたにヤンゴンクラスをスタート

■今後1年間のゴール

受け入れ可能な在留資格（技能実習、特定技能）や、ヤンゴン教室の強化を図る

■障がい者就労支援事業の取り組み



障がいにとらわれず、一人ひとりが個性と能力を十分に発揮しながら働ける職場環境の創出および雇用機会の場を提供するとともに、ディーセント・ワークの実現に貢献する

2022年3月実績71名、
2023年3月実績74名

■今後1年間のゴール

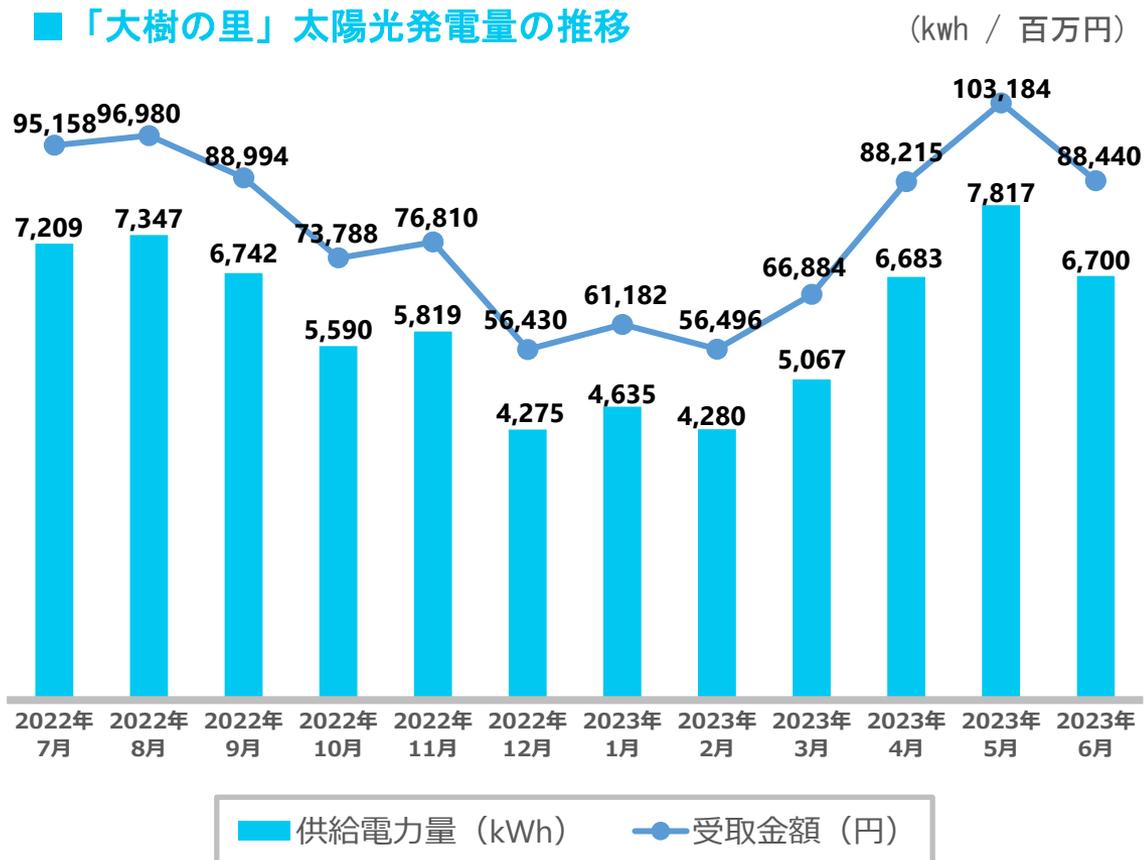
就労拠点を増加させ、障がい者雇用をさらに増加させる

「大樹の里」における太陽光発電

当社グループの大松サービシーズが運営するサービス付き高齢者向け住宅「大樹の里」では、再生可能エネルギーである太陽光発電に取り組んでいます。

2022年7月～23年6月の売電実績 → 72,164kWh、952千円

■ 「大樹の里」太陽光発電量の推移

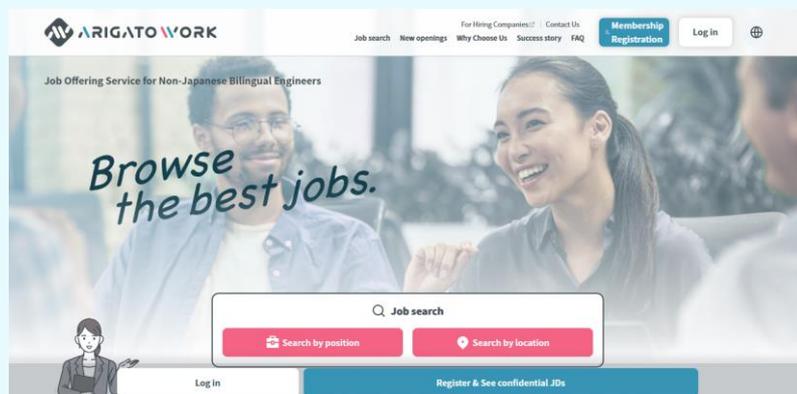


国籍に関係なく、エンジニアが活躍できる職場を紹介

ESGのS：スタートアップ企業支援、ダイバーシティ就労支援

渋谷区のスタートアップ共同企業体「シブデック」へ参画

平山が提供する、
外国籍エンジニアに特化した転職支援サービス
「ARIGATO-WORK(ありがと わーく)」



渋谷区のスタートアップ共同企業体
「Shibuya Startup Deck(シブデック)」
に平山が参画

■シブデックとは…

渋谷区が2020年11月に設立した、
海外スタートアップ企業の育成を産官学連携で
サポートするチーム

組織名：Shibuya Startup Deck

所在地：渋谷区役所内 Shibuya Startup Deck事務局



- 渋谷区で起業する外国籍スタートアップ企業を対象に、「ARIGATO-WORK」を通じて人材紹介の取り組みを展開
- シブデックの人材部会に参画し、組織の垣根を超えた交流を通じて支援



参考資料（今後の成長戦略）

※ 現在、2025年6月期から始まる中長期計画（『VISION平山2030』）を策定中であり、2024年6月期下半期中に発表予定であります。

新たな高付加価値サービスを提供する
ものづくり支援オンリーワン企業に向けて

- ① 新規事業と既存事業の融合による高付加価値サービスの創造
- ② エンジニア派遣の領域拡大に伴う高付加価値人材の育成と多様な人材採用
- ③ 外国人労働者の受入管理受託サービスを全職種で展開
- ④ 国内の人材ビジネスパッケージ(人材派遣・製造請負・改善コンサル・人材教育)を横展開(タイ)
- ⑤ サービス事業(小売・物流・介護など)顧客の拡大

ESGのS：ソーシャルに対応

サービス領域の拡大による
工場運営から流通・店舗運営までのトータルサポート

既存事業

新規事業

生産部門



新工場立ち上げから請負化
までのワンストップサービス

工場インフラ部門

バックオフィス部門

流通・店舗運営部門



特徴・強み：現場改善力（改善事例：マフラーの加工工程）

レイアウト変更による省人化改善

- ① レイアウト変更（写真かんぱん運営方法導入・部品ストアーの2S）
- ② ムダ運搬・ムダ歩行40%削減
- ③ ピッキング工程の見える化70%
- ④ 部品位置変更によるセット作業C/T UP

生産能力（台/日）

20% UP

3,000

3,600

改善前

改善後

作業人員（人）

13% DOWN

35

31

改善前

改善後

生産性（台/人・時）

27% UP

1.1

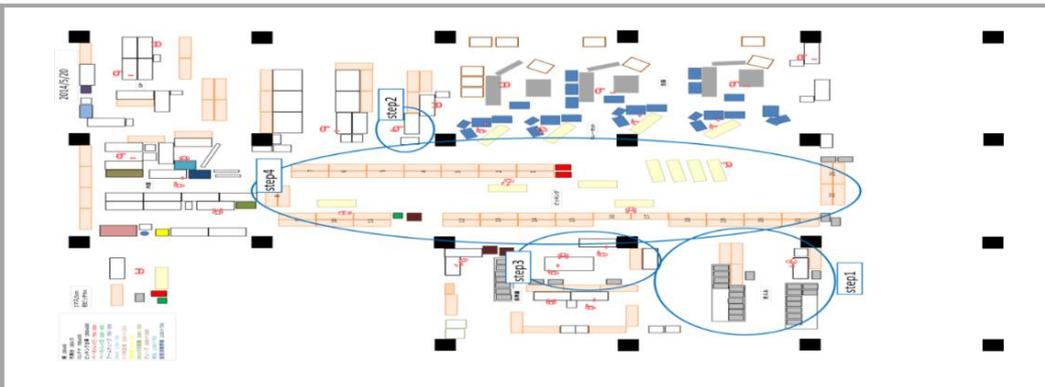
1.4

改善前

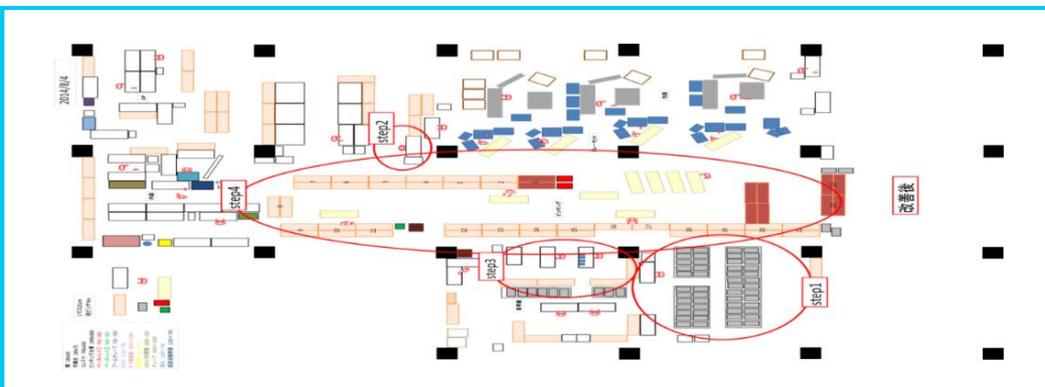
改善後

マフラーの加工工程

改善前



改善後



「工場の立ち上げ支援」 トータルサービスを提供開始

生産拠点の国内回帰需要に応え、平山の強みを活かし、トータルサービスを提供

①

新工場建設
プロジェクトの
効率的な推進



④

人員確保と
早期生産
立ち上げ実施



②

TPSの考えに基づいた
無駄のない
レイアウト設計



⑤

新工場の稼働と
人材派遣による
サポート



③

リアルタイムで
現場が見える
システム構築



⑥

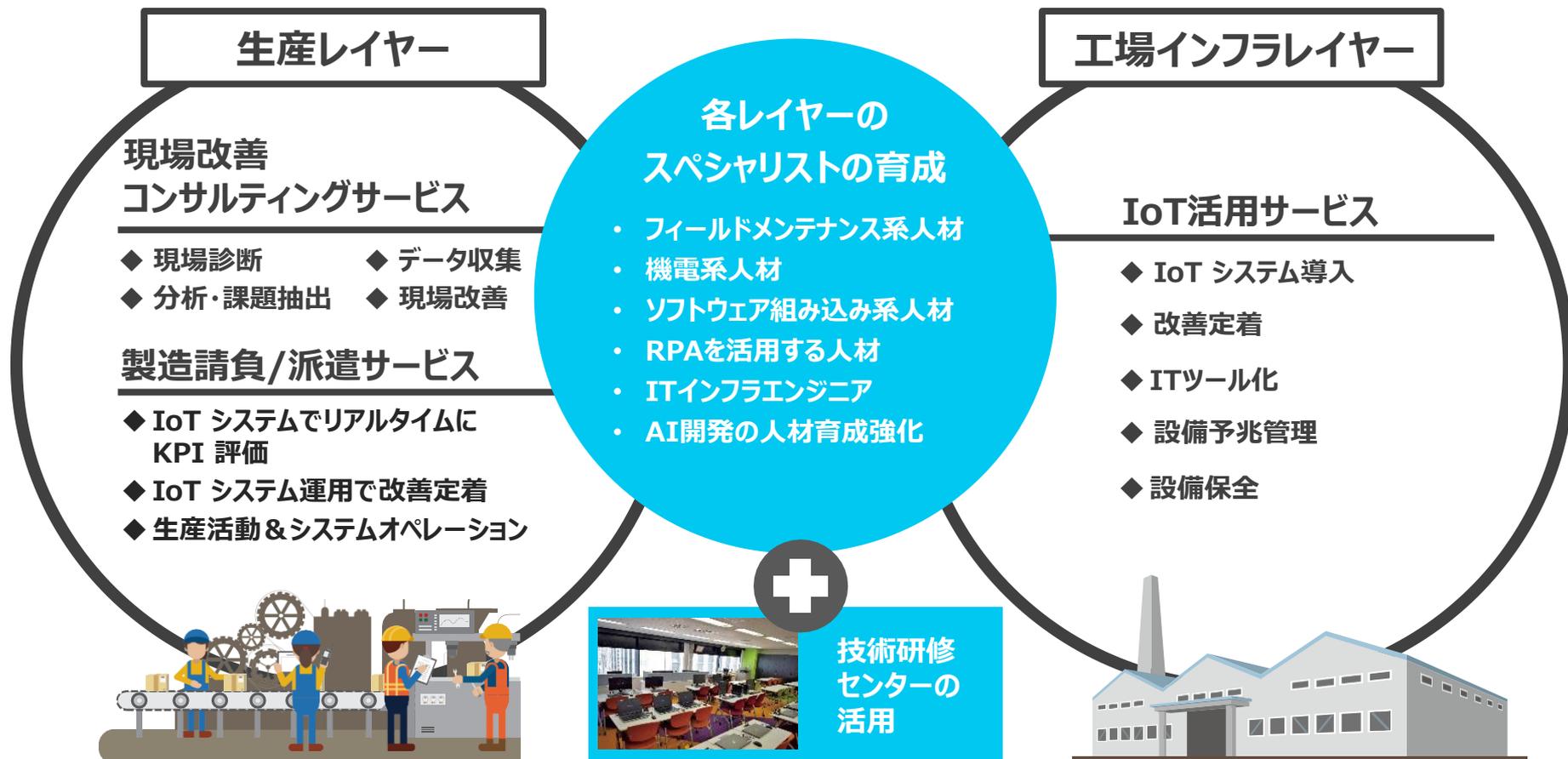
請負サービスによって
量産体制を
確立



国内外40カ国、150社以上の工場生産性・品質改善、コスト削減の実績に加え、
新工場建設立ち上げプロジェクト経験者によるサポートで新工場設立へ建設支援・設備・保守・
人材導入・工場稼働・人材派遣・請負までトータルに提供する新しい一気通貫サービス

高付加価値人材の育成

教育体制強化による、未習熟者→初級エンジニアへのキャリアチェンジを進め、高付加価値人材を育成

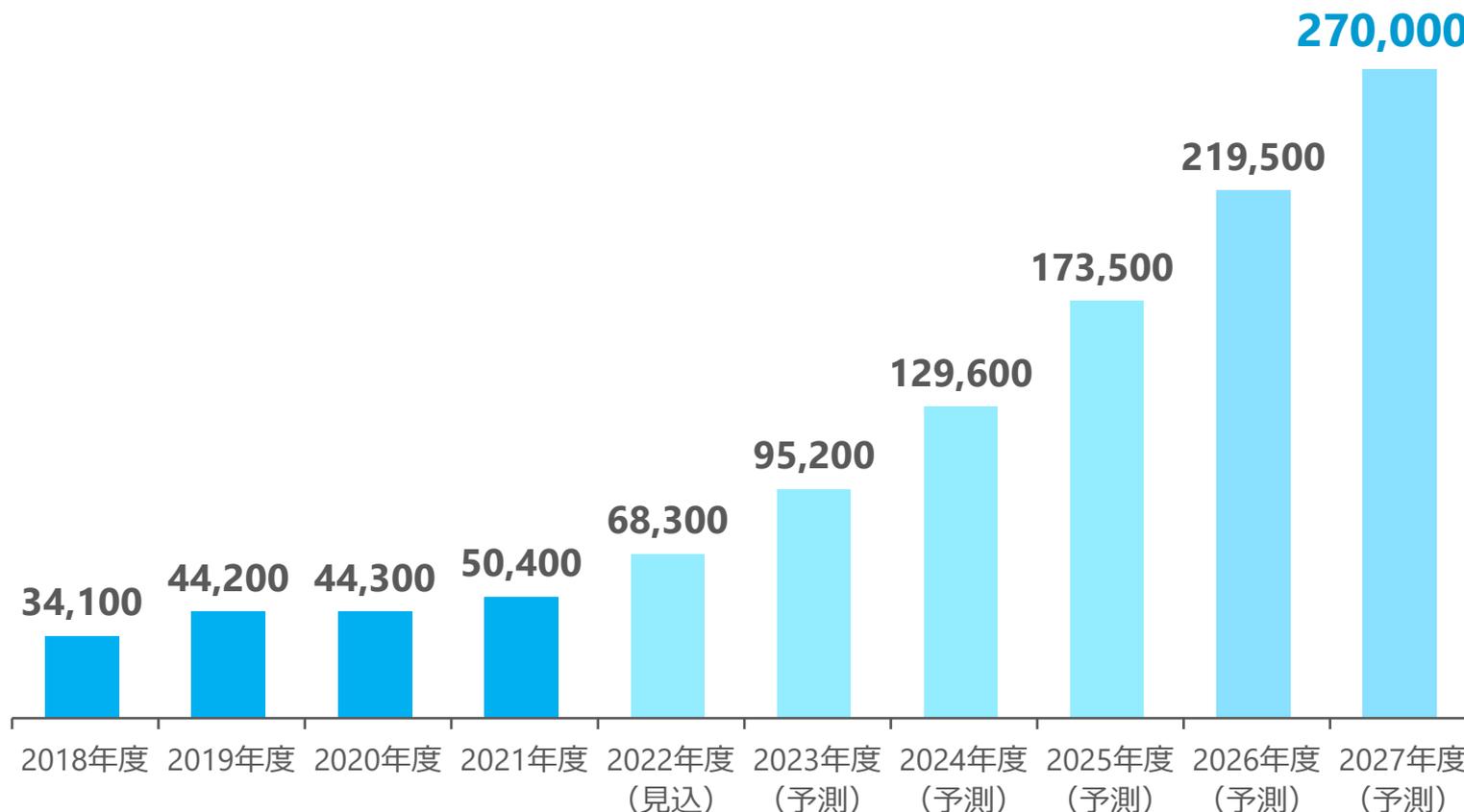


エンジニア人材の教育と領域の拡大

フィールドワーク支援ソリューション市場規模推移

2021年度の国内のフィールドワーク支援ソリューション市場は前年度比13.8%増の504億円
2027年度に2,700億円を予測

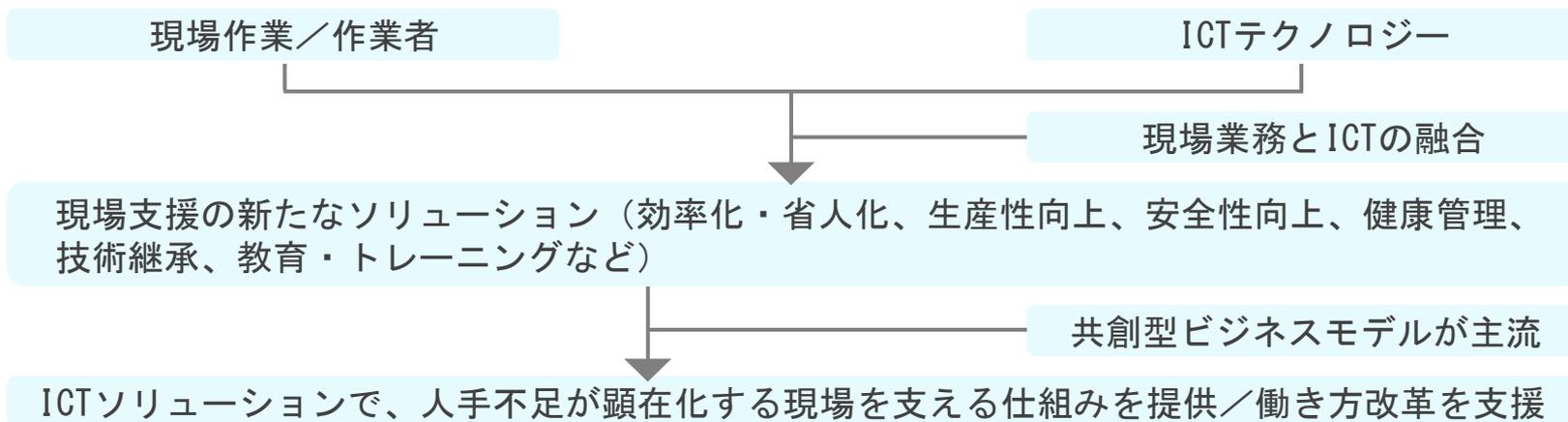
(単位：百万円)



フィールドワーク支援ソリューション市場の構造とターゲット

フィールドワーク支援ソリューション：ICTテクノロジーを使った現場作業支援サービス
M2Mやローカル5Gの普及加速で市場拡大に弾み

フィールドワーク支援ソリューション市場の構造



矢野経済研究所作成

フィールドワーク支援ソリューションのターゲット

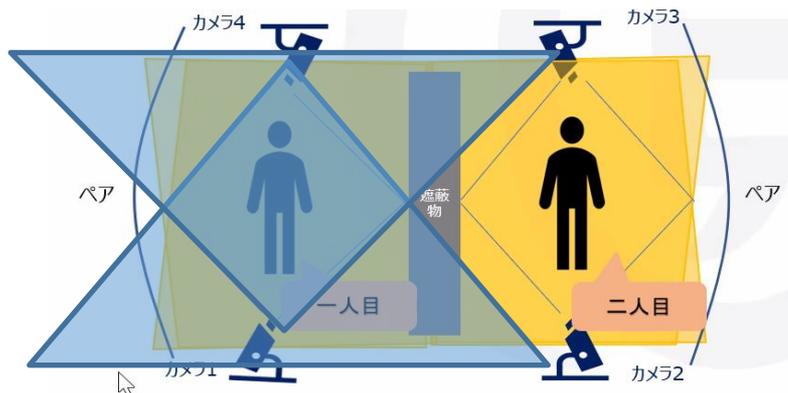
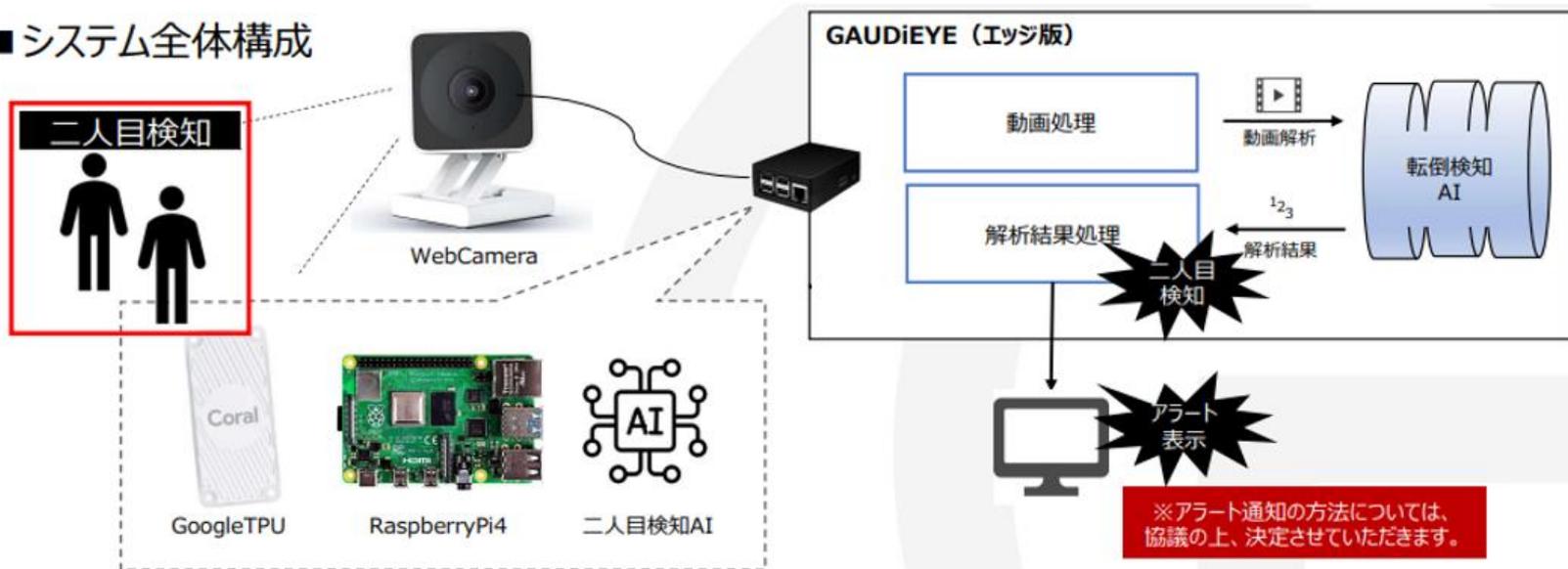
生産工程
専門的・技術的職業
販売
サービス
輸送・機械運転

フィールドワーク支援ソリューション市場における実績例①

平山グループの事業ポートフォリオにおいて、生産技術レイヤーのシナジーを活かし、フィールドワーク支援ソリューションを強化

物体検知による危険エリア侵入防止システム：二人目検知AI（事故防止、作業効率化）

■システム全体構成



AIで危険エリア内の人物を検知

- ➔ 装置内で人的作業を行っているエリアへの誤った他作業者侵入を警告・防止
- ➔ 安全性向上を実現

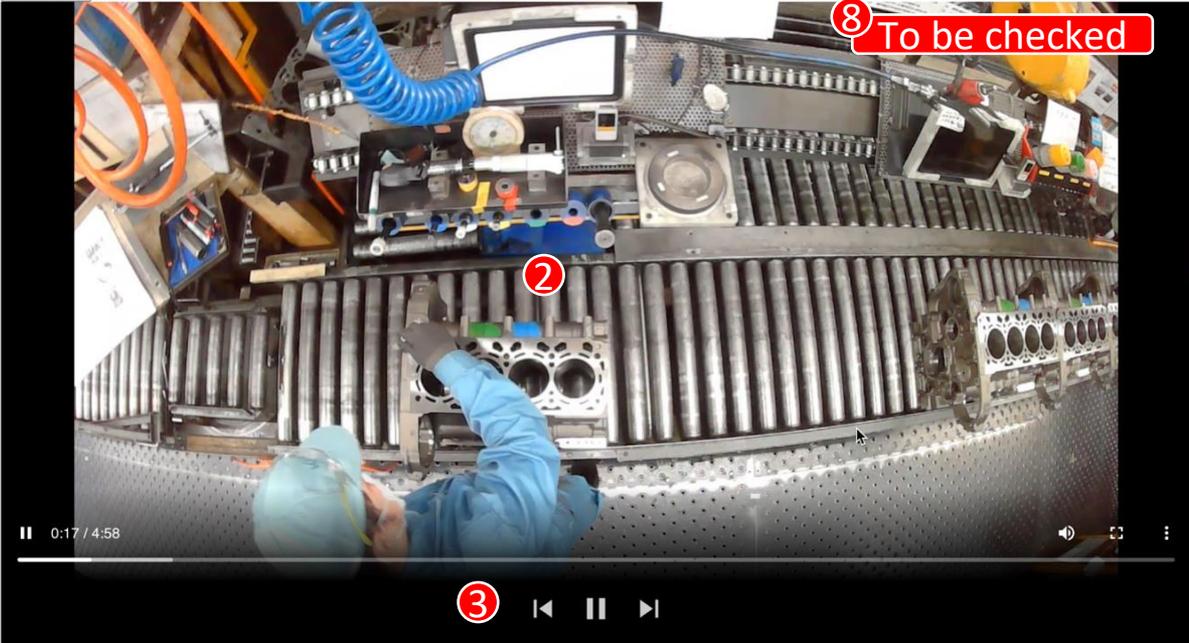
PoC用のモックアップシステム（標準作業支援AI）

工程 検査工程（ライナー測定・外観検査） 型式 A65(1J775)

1 **UPLOAD**
Click the Button to Upload your video

検証作業動画 標準作業動画

Choose File | work.csv



8 To be checked

2

6 4 Results 7

00:00.0 - 00:01.0 : -	7	○
00:01.5 - 00:02.5 : 空手移動	5	○
00:03.5 - 00:06.5 : 前面φ35カム穴径確認		○
00:07.0 - 00:09.5 : 上面φ10ノック穴径確認	8	×
00:10.0 - 00:16.5 : 左右面φ14.9穴径確認		○

3

【モックアップ機能概要】

- ①ユーザが動画をアップロードする
- ②動画が表示・再生される
- ③ユーザが動画の早送り・戻し・停止・再生ができる
- ④工程名が表示される
- ⑤工程名を押すと
- ⑥工程名の開始と終了時間が表示される
- ⑦判定結果が表示される
- ⑧判定「×」の場合は、画面に警告が表示される

採用戦略～多様な人材採用に向け、展開を加速

ESGのS：ソーシャルに対応する顧客へのサービス

国内からの労働力

正社員の採用推進

- ◆ **新卒採用（専門学校・大学）重視**
（目標：1,000名/年）
⇒ 2024年6月期：705名
（平山社600名、FUN10名、TOP95名）
- ◆ **中途正社員の採用**
（目標：3,000名/年）
⇒ 2024年6月期：2,400名
（上半期時点：967名 進捗率40.3%）
⇒ 今後の対応策
 - ① アライアンスによる
同業人材ネットワークの拡大
 - ② 同業のM&Aによる人材確保
 - ③ 外国人（技術者、特定技能及び技能
実習生、国内外国人）・日系人材の活用
- ◆ **中途社員も含め全社員の無期雇用化**
- ◆ **派遣法改正に伴う人材の流動化の受け皿（メーカー雇用⇒常用型派遣）**



海外からの労働力

外国籍技術者積極採用

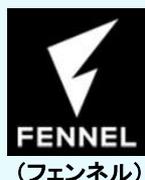
- ◆ **機電系に加え、ソフトウェアの外国籍エンジニア100名を採用目標**
⇒ 2023年6月期末時点：51名
- ◆ **入国管理法の改正**
 - > 技能実習及び特定技能の業種拡大
（短期的に300名、中期的に1,000名を受入れ）
- ⇒ **すでに達成**
外国人サービス提供者数は1,067名で目標に対し順調に推移
今後、目標を1,500名に拡大
（上半期時点：1,234名 進捗率82.3%）
- > **特定技能1号の研修・労務管理サービスビジネスを拡大**

教育機関との連携

- ◆ **ミャンマーマンダレー工科大学との提携**

eスポーツ支援による採用強化

2022年7月1日より、プロeスポーツチーム「FENNEL」とのスポンサーシップ契約を締結



日本最大規模のゲーミングベースを横浜に開設。現在、7部門 9チームを設置し、約60名の選手が所属。APEX部門は、日本大会、アジア大会で優勝。2022年7月に世界一を決めるチャンピオンシップに出場。

eスポーツ支援の趣旨

- 人材の採用強化に向けた若手世代へのアピール
- 社内大会、コーチング支援など eスポーツを通じて社内の活性化に活用
- 新卒採用に大きな効果を発揮（eスポーツ支援効果によって70名の新卒を採用）



FENNELの応援を通じて社内が活性化

外国人技能実習生及び新資格（特定技能制度）の拡大

「顧客のESGダイバーシティ採用を強化」するサービス

株式会社平山グローバルサポーター

入国管理法改正に伴うビジネスチャンス

特定技能：5年間で34.5万人

1 送出し

ベトナム・フィリピン・ミャンマー・インドネシアの
四か国で送出し機関と提携しネットワーク構築



4 帰国後 就職支援

日本で習得した技術・技能を
活かせる分野・企業への就職支援

2 受入支援

- ・ 平山GSを通して受入れ先開拓
- ・ 中堅中小企業の顧客を拡大



3 教育・研修、 受入・労務管理業務受託

- ・ 入国前・入国後の研修・
教育システム提供
- ・ 早期実習定着をサポート

日本語教育

ビジネスマナー研修

技能研修

外国人労働者の受入管理受託サービスを全職種で展開

目的：「人材不足を補うための外国人労働者の受け入れ」

14分野：特定技能は14職種（単純作業も可能）

受入れ見込み（5年間最大）： 34万5,000人

	職種	受入れ見込み (5年間最大)		職種	受入れ見込み (5年間最大)
1	介護	60,000人	8	自動車整備	7,000人
2	ビルクリーニング	37,000人	9	航空	2,200人
3	素形材産業	21,500人	10	宿泊	22,000人
4	産業機械製造業	5,250人	11	農業	36,500人
5	電気・電子情報関連産業	4,700人	12	漁業	9,000人
6	建設	40,000人	13	飲食料品製造業	34,000人
7	造船・船用工業	13,000人	14	外食業	53,000人

出典：「新たな外国人材の受入れについて」H31年3月 法務省入国管理局

「技能実習2号修了者」 → 「特定技能」へ移行しさらに5年間の就労可。
 また、技能実習の職種にない【宿泊】や【外食業】が「特定技能」で受入可。

平山GSの基本サポート内容 【総務様の労務管理業務】を受託します

Support 01

入国・帰国サポート

(優良な送出し機関、受入組合の選定含む)

- ・送出し機関、受入組合の定期的業務チェック
- ・送出し機関の入国前研修の進捗状況確認
- ・入国出迎え、講習場所への引率
- ・講習中宿泊設備、備品の整備
- ・役所手続き、買い物案内
- ・転出手続き、荷物郵送、携帯など解約手続き

Support 02

入社サポート

- ・企業社宅への移動（社宅の使い方、周辺案内）
- ・役所手続き（転入届、在留カード変更）
- ・入社時の通訳、オリエンテーション支援
- ・安全衛生教育サポート（通訳）

Support 03

寮・社宅物件管理サポート

(条件により転貸契約も有り)

- ・企業社宅の使用状況を定期的にチェック
- ・案内文、掲示物の翻訳
- ・周辺危険個所の把握、指導
- ・外出管理表（翻訳）
- ・緊急連絡簿（翻訳）、避難経路（翻訳）
- ・退去時の掃除確認、ゴミ捨て指導など

Support 04

巡回、生活サポート

(日本での生活面の相談、支援)

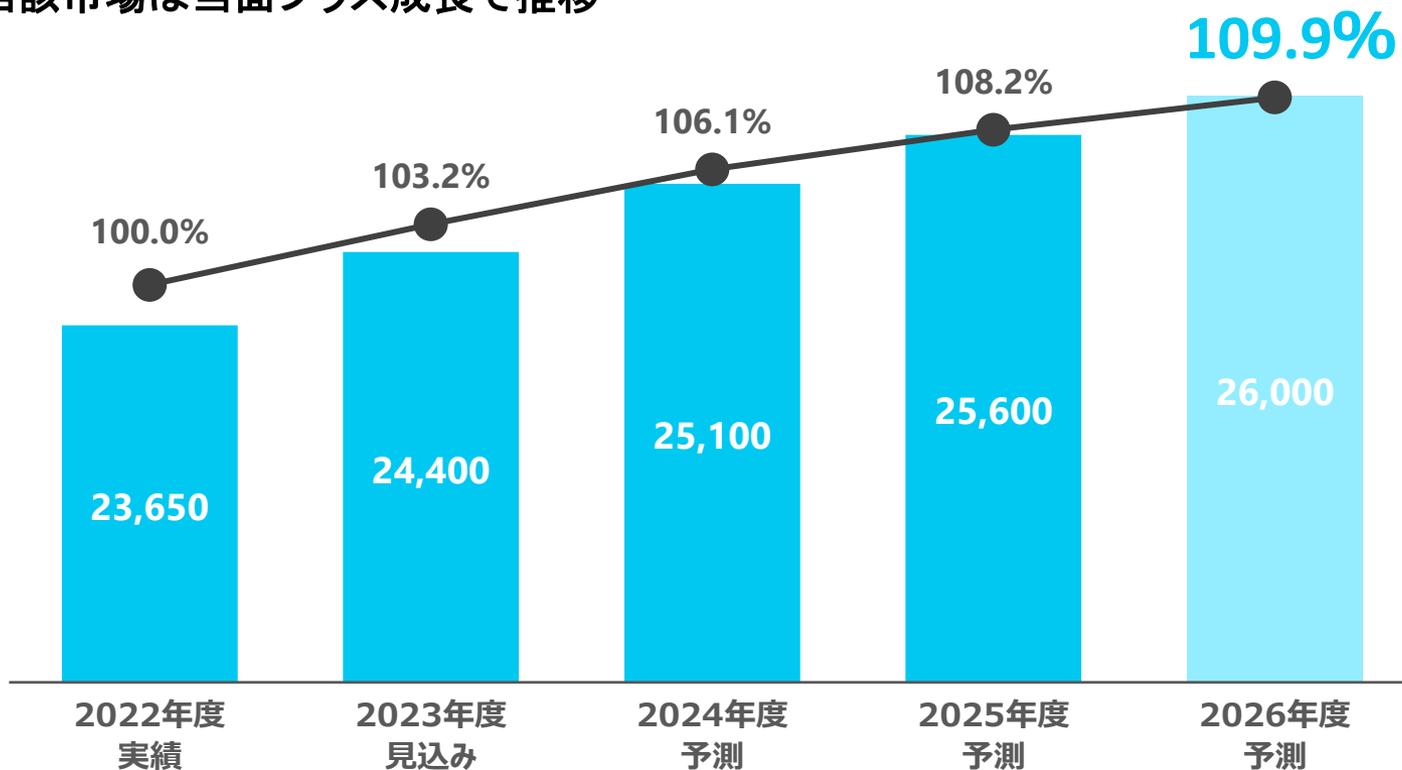
- ・食生活指導、自炊についての指導
- ・緊急時対応（迷子、トラブルシュミレーション）
- ・傷病時の病院付添い
- ・地域住民等のコミュニケーション（事前挨拶など）
- ・ライフライン使い方など指導

製造請負・製造派遣市場規模推移

2026年度予測：2兆6,000億円（年間平均 2.4%成長）



製造現場におけるアウトソーシング化に加え、生産拠点の国内回帰等による労働力不足が予想され、当該市場は当面プラス成長で推移



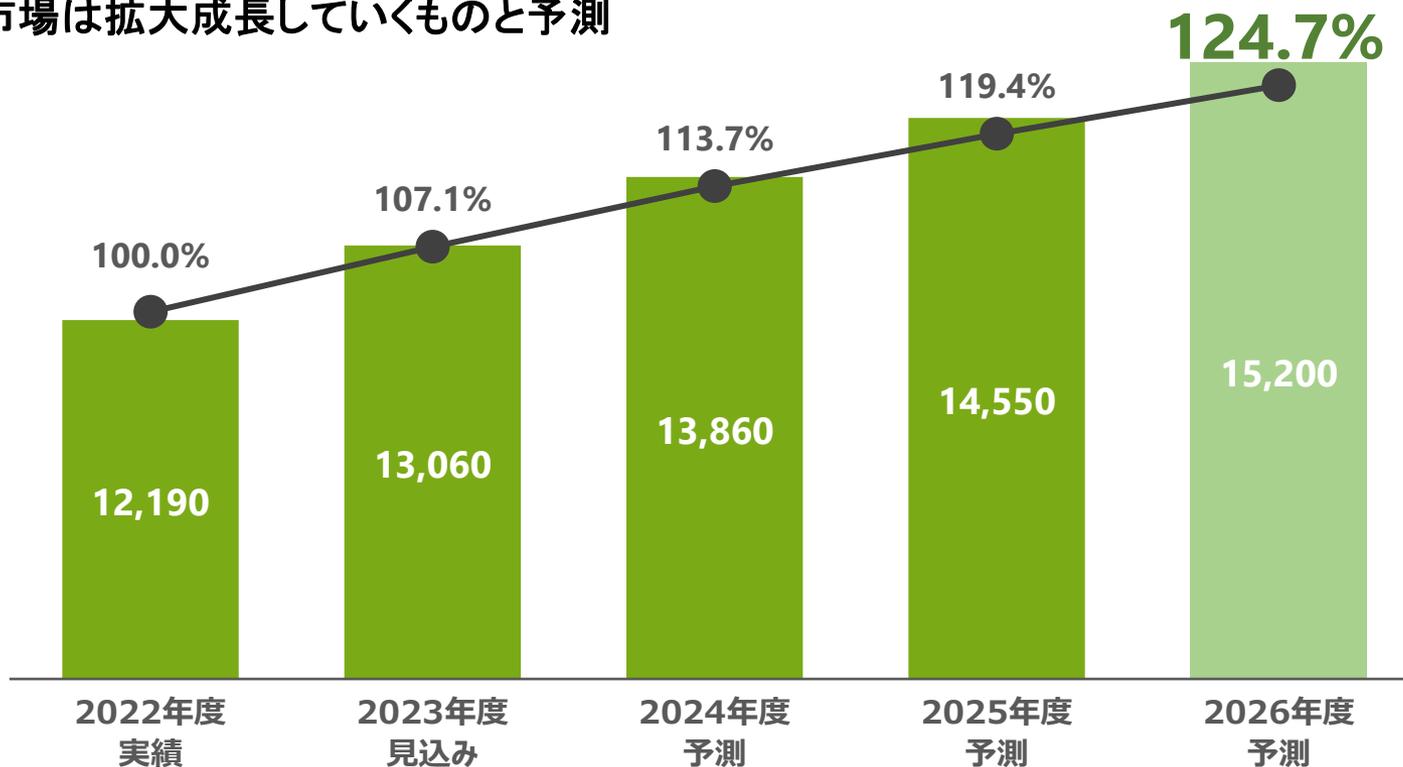
技術者派遣市場規模推移

2026年度予測：1兆5,200億円（年間平均 5.7%成長）

■ 市場規模 ● 2022年度比伸び率

（単位：億円）

大手を中心にコロナ禍以前に回復、或いはコロナ禍以前よりもさらに拡大・好調に推移
当該市場は拡大成長していくものと予測



海外事業主力のタイの工業生産指数

- 2023年11月の工業生産指数は前年同月比4.71%減の90.83。20業種中16業種が前年同月比でマイナス。寄与率が高い上位5業種の増減率は「コークス・精製石油製品」が29.91%増、「食品」が5.50%減、「車両・トレーラー」が14.97%減、「コンピューター・電子製品」が12.68%減、「ゴム・プラスチック製品」が3.23%減。
- 2024年のタイ経済は、持続的な個人消費と観光セクターの回復に牽引され、着実な回復が見込まれている。雇用・労働所得の改善が個人消費を押し上げている。

	2021年	2022年	2022年				2023年				
			Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	10月	11月
工業生産指数*MPI(季節調整なし)	97.7	98.1	105.2	95.5	97.4	94.1	101.3	90.2	91.3	89.4	90.8
前年同月比 (%)	5.8	0.4	1.4	▲1.1	7.7	▲6.0	▲3.7	▲5.5	▲6.3	▲4.3	▲4.7
(ご参考)自動車生産台数(台)	-	-	480,078	390,033	493,926	519,478	507,787	413,725	464,459	158,734	163,337
当該年累積(台)	1,685,705	1,883,515	480,078	870,111	1,364,037	1,883,515	507,787	921,512	1,385,971	1,544,705	1,708,042
生産設備稼働率 (%)	63	62.8	66.8	61.2	62.8	60.3	63.8	57.7	58	56.8	57.9
民間消費指数 PCI	130.19	141.21	138.57	139.74	142.4	142.6	148.61	149.63	152.83	139.45	164.6
消費者物価指数伸び率 CPI	1.23	6.08	4.75	6.46	7.28	5.81	3.88	1.14	0.52	▲0.31	▲0.44
生産者物価指数* PPI	102.3	112.9	109.3	115.1	114.1	113.3	110.1	109.3	110.3	112.5	111.3
輸出額(百万ドル)	270,564	285,162	73,116	74,410	71,850	65,785	70,323	70,659	70,405	23,342	23,100
前年同月比 (%)	19.2	5.4	14.2	9.6	6.5	▲7.5	▲3.8	▲5.0	▲2.0	7	3.9
輸入額(百万ドル)	238,210	271,619	65,534	71,712	72,768	61,605	65,846	67,009	65,012	22,077	23,258
前年同月比 (%)	27.7	14	15.8	22.3	21.4	▲2.3	0.5	▲6.6	▲10.7	10.5	9.5
貿易収支(百万ドル)	32,354	13,543	7,582	2,698	▲918	4,180	4,478	3,650	5,393	1,265	▲159
実質GDP成長率 (%)	1.5	2.6	2.2	2.5	4.6	1.4	2.7	1.8	1.5	-	-

* 生産者物価指数は2015年=100とした指数

* 工業生産指数は2016年=100とした指数

「みずほタイ月報2024年1月号」より引用

ブリヂストングリーンランドスケープ社を子会社化

2023年7月18日、平山ホールディングスは、ブリヂストンの100%子会社ブリヂストングリーンランドスケープ株式会社（BSGL社）の発行済全株式を取得し、子会社化しました。

BSGL社の概要

主にブリヂストンの九州4工場で、タイヤ・スチールコード製造の委託業務を行う会社

商号	ブリヂストングリーンランドスケープ株式会社
事業内容	タイヤ及びスチールコード生産に関する付帯作業の請負、労働派遣事業、有料職業紹介事業等
本社所在地	福岡県朝倉市小田2011番地
設立	1972年11月
資本金	4,000万円（2022年12月31日現在）
従業員数	247名（2021年12月31日現在）

BSGL社が委託業務を行うブリヂストンの九州4工場

- ① 甘木工業（BSGL社の本社所在地）
- ② 久留米工場（BSGL社の出張所所在地）
- ③ 鳥栖工場（BSGL社の出張所所在地）
- ④ 佐賀工場（BSGL社の出張所所在地）



BSGL社の株式取得の目的

BSGL社をグループ会社として迎え入れ、平山グループが強みとする現場改善を行うことにより、BSGL社と相乗効果を生み出し、平山社と労働者派遣契約を結ぶブリヂストングループの生産により一層寄与するため。

BSGL社の財政状態及び経営成績

決算期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	(単位：百万円)
純資産	286	412	381	
総資産	705	932	891	
売上高	1,475	1,789	1,877	
営業利益	△63	197	158	
経常利益	△11	198	156	
当期純利益	△9	131	100	

子会社化後の同社見通し

BSGL社の会計上のみなし取得日は2023年7月1日、平山GL社として平山グループに加わりました。同社の2024年6月期（2023年7月1日-2024年6月30日）の見通しにつきましては、売上高1,524百万円と保守的に折り込んでおります。

本資料の注意点

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。

お問い合わせ先



E-mail: ir@hirayamastaff.co.jp

TEL: 03-5769-4680

FAX: 03-5783-3572

ホームページ: <http://www.hirayamastaff.co.jp/>